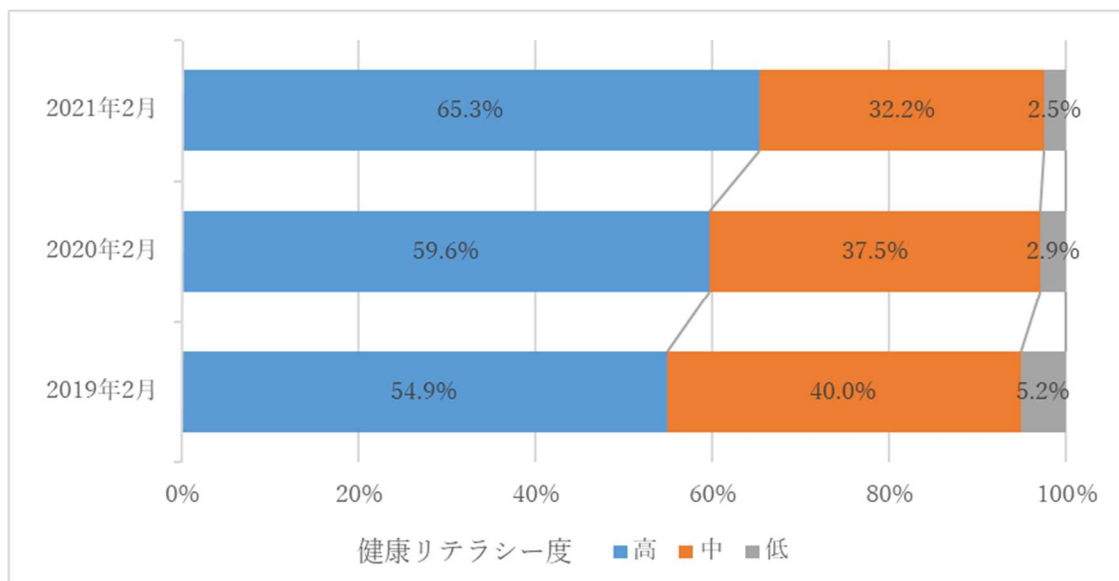


健康リテラシーの向上

健康保持のための正しい知識を保持し、自ら行動できる従業員を増やすことを目指しています。当社グループでは運動、食事、睡眠、嗜好品、ストレス、健康診断の6つのカテゴリーによる12項目の設問から従業員の健康リテラシー度を測定し評価しています。

<従業員の健康リテラシーの状況>

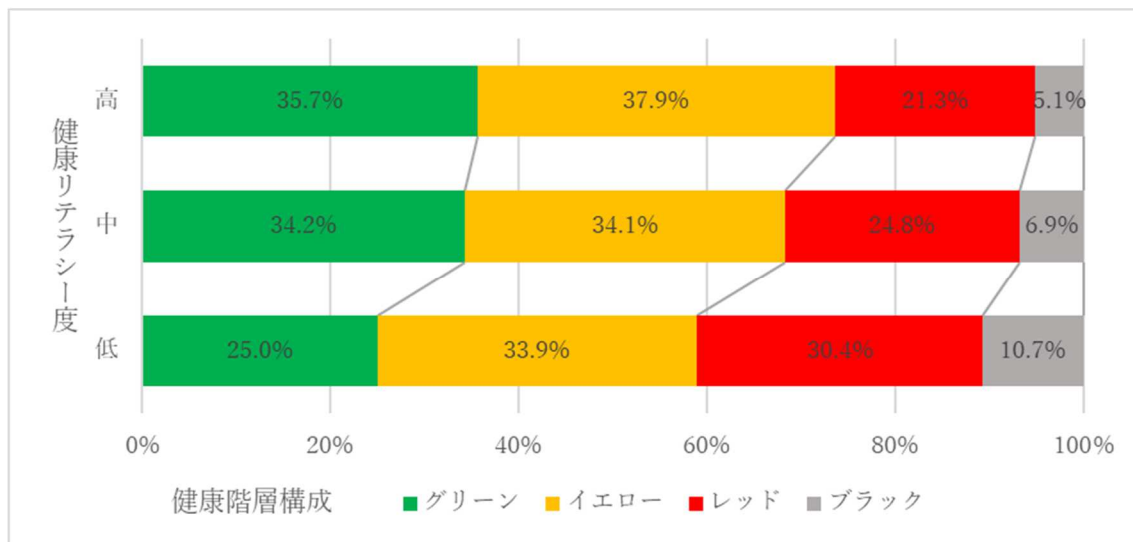


健康リテラシーの高い従業員は健康状態が良い傾向にあり、仕事への好影響も見られます。従業員の健康リテラシーが高められるように健康意識向上の取組を行なっています。

<健康リテラシーの高い従業員の傾向>

健康状態を4段階に分けた健康階層と健康リテラシー

健康リテラシーが高い従業員ほど、良好な健康階層の割合が多くなっています。



グリーン：生活習慣病関連項目にて、正常判定される層

イエロー：生活習慣病関連項目にて、境界域に判定される層

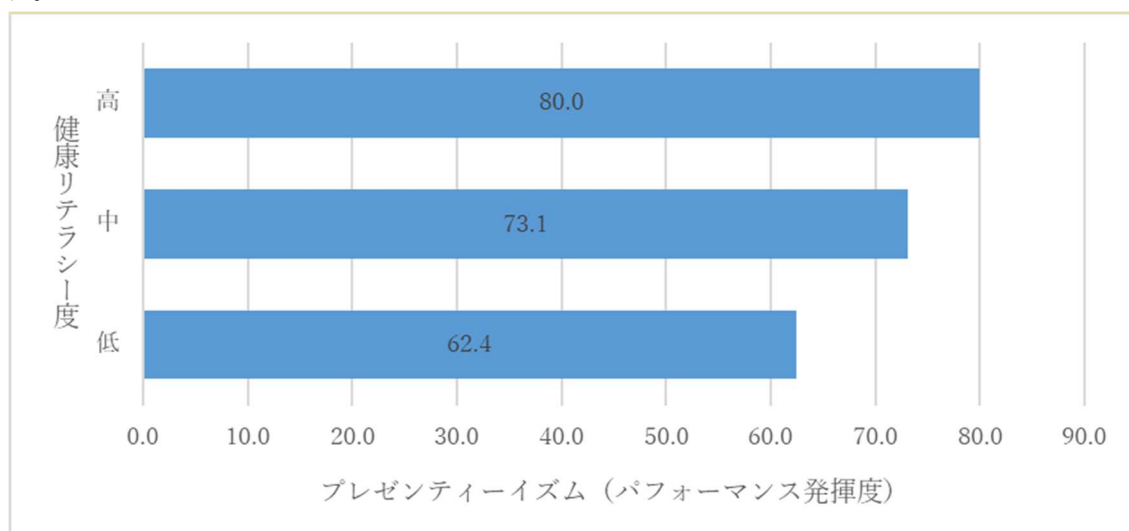
レッド：生活習慣病関連項目にて、要治療領域に判定される層

ブラック：生活習慣病関連項目にて、要治療領域の中でもすぐに受診が必要とされる層

2020年度健康診断結果と、健康に関する取組へのアンケート（2021年2月）より

プレゼンティーズムと健康リテラシー

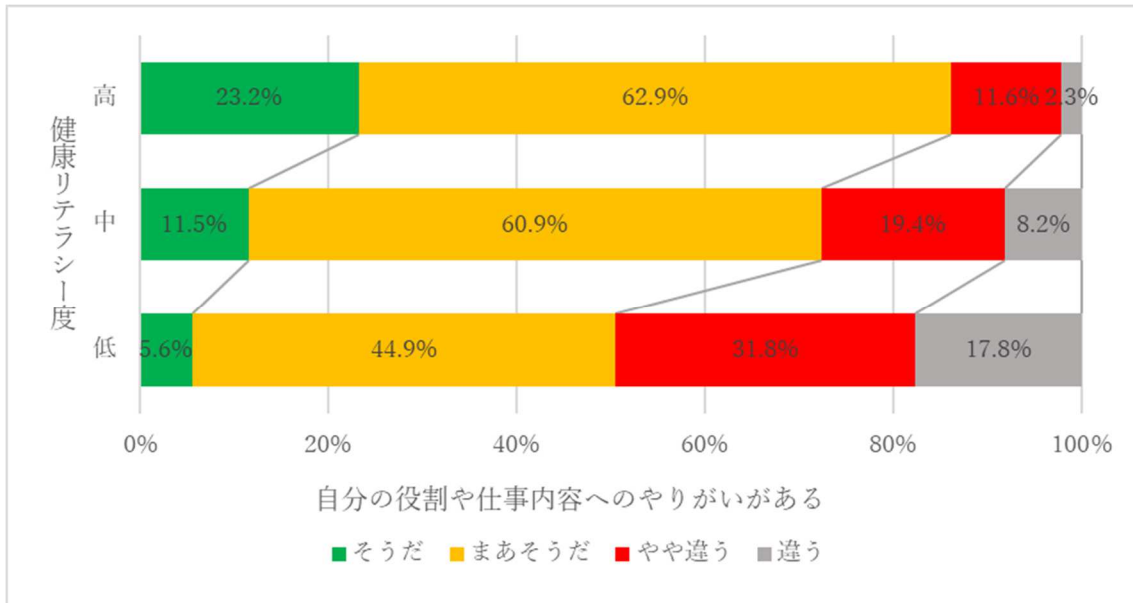
健康リテラシーが高い従業員ほど、プレゼンティーズムを抑えられている傾向にあります。



健康に関する取組アンケート（2021年2月）より

職務へのやりがいと健康リテラシー

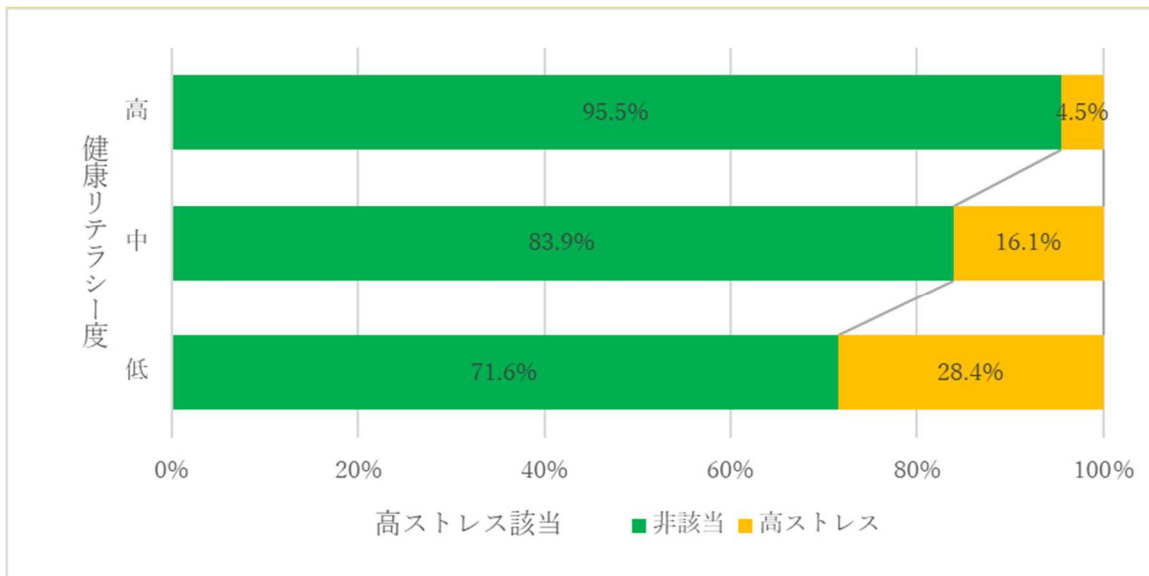
健康リテラシーが高い従業員ほど、自分の役割や仕事内容にやりがいを感じている傾向にあります。



健康に関する取組へのアンケート（2021年2月）より

高ストレス者と健康リテラシー

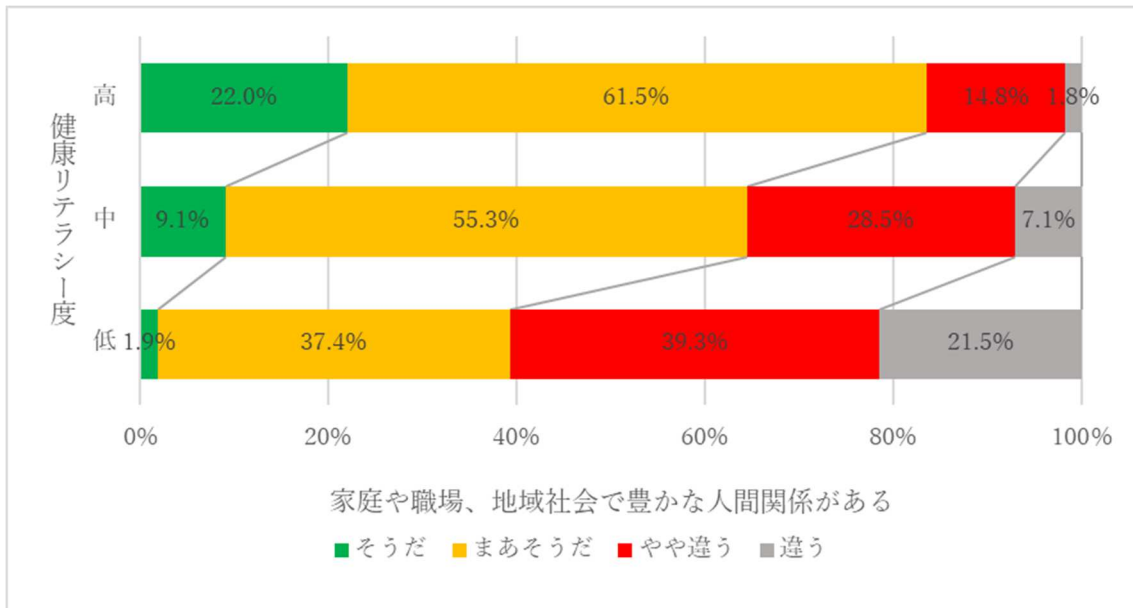
健康リテラシーが高い従業員ほど、高ストレス者に該当しない傾向にあります。



ストレスチェック（2020年7月）より

社会的健康と健康リテラシー

健康リテラシーが高い従業員ほど、家庭や職場、地域社会で豊かな人間関係がある傾向があります。



健康に関する取組へのアンケート（2021年2月）より